



Meet Up (当事者会) 報告 H26. 2. 22

神奈川県自閉症協会では、神奈川県発達障害支援センター（かながわA）や相模原市発達障害支援センターのお2人をアドバイザーにお迎えし、自閉症スペクトラムの方々を対象に、懇談会を開催しています。

今年度最後の懇談会には、20～40代の13名が、厚木・伊勢原・相模原・茅ヶ崎・秦野・平塚・藤沢等から参加されました。初参加の方もいらっしゃいますが、リピーターが多いのが特徴です。7割が男性でした。

第1部のテーマは「将来の夢について」

平凡な日常や差別のない社会を希求しつつ、話題は諸外国の消費税や教育内容にまで及びました。日頃から国に意見を出している方もいらっしゃり、意識の高さに敬服しました。また、旅行や一人暮らし、仕事への夢も語られました。寝転がって絵を描くのが日課の方からは、アートビリティ（ARTBILITY 障がい者アート専門の芸術ライブラリー）への応募について伺いました。豊かな趣味をお持ちです。

「人にべらべらしゃべっていい夢と、自分の中にしまっておく夢がある。俺の夢は後者だから、言わない」との渋〜いご発言には、一同ため息。さすが先輩、カッコイイ。

休憩後の第2部は、皆様から提起された話題についてです。

障がい者雇用の現状を聞きたいとの要望にこたえ、雇用の経緯や利用した機関、実際の状況について4名の方から具体的に伺いました。障害者就業・生活支援センターからは、長期的に生活全般への支援が受けられます。また、発達障がいへの理解・支援が進んでいる民間企業の情報提供もありました。

嫌な人への対処法には、各自の知恵が活かされています。

- ・怒られた等嫌だったことを書き出し、チェックして捨てる。形にするとスッキリ。
- ・心の中で「ふざけるな」と吹っ飛ばす。
- ・そういう人なのだと割り切る。
- ・エスケープ。

最初は反感を覚えていた上司に対して、立場からの発言なのか、気持ち上の発言なのかを考えていくうちに、注意せざるを得ない相手の立場に思いを馳せるようになったとの意見には、多くの賛同のうなずきがみられました。皆様、かなりの想像力・適応力をお持ちです。自分に変化していく様子が語られ、見習わねばと思いました。

この懇談会は、貴重な情報交換の場であるだけでなく、同じ悩みを持つ仲間と共感しあえる場であることを、毎回痛感しております。次回も楽しみです。